

# 生命の星・地球博物館で、来館者に新たな博物館体験を提供する「実証実験」を行います

専用タブレットや来館者のスマホのカメラで読み取った展示物を解説！

神奈川県立生命の星・地球博物館は、常設展示室の恐竜・鳥類・陸生哺乳類の展示エリアにおいて、来館者が専用タブレットやスマートフォンといったスマートデバイスを活用し、様々な展示物の情報にアクセスできる、新たな博物館体験に向けたサービスの実証実験を行います。

## 1 背景と概要

- ・通常、博物館にある展示物の詳細を知りたい場合は、展示室の解説パネルや標本ラベルを読んだり、QRコードによる音声ガイドを参照したりしています。さらに現在では、ICT を活用した展示体験システムを導入する事例が見られるようになってきました。
- ・このような状況を踏まえて、当館では、NEC ネクサソリューションズ株式会社による「被写体認識基盤サービス」、及びピープルソフトウェア株式会社による「MUSENAVI-ミュージズナビ」を利用し、来館者がスマートデバイスで撮影した展示物の画像から、種々の展示情報にアクセスできるサービスの実証実験を行うこととしました。
- ・これは、日本学術振興会の科学研究費助成事業として、新たな博物館体験の向上をめざす展示解説手法の研究を行うものです。

## 2 実験内容

- ・本実証実験には、①貸出用の専用のタブレットを用いるか、②来館者ご自分のスマートフォンに専用アプリケーションをダウンロードする(docomo 契約者以外は通信料が生じる)ことで、ご参加いただけます。
- ・参加者は、タブレットまたはスマートフォンを用いて、自分の興味ある展示物を撮影することで、詳細な解説コンテンツが検索表示されるという、新たな体験ができます。解説コンテンツとして、展示物の詳細解説やクイズ、動画などの様々なメニューを提供します。

## 3 実施時期等

平成 30 年 10 月 20 日(土)～11 月 25 日(日)

- ①専用タブレット貸出:土曜・日曜・祝日の 10 時～15 時 ※アンケートをお願いします。
- ②スマートフォン利用:期間中の開館時間

#### 4 実施場所

生命の星・地球博物館 1階 生命展示室「恐竜の世界」、「恐竜から哺乳類へ」、「鳥類の世界」

#### 5 研究主体

日本学術振興会科学研究費助成基盤研究(C)「博物館体験の向上をめざす展示解説手法の研究—自然史博物館で行う UXD の試み」(JP16K012066)—研究チーム

#### 6 システムの提供及び実施協力

NEC ネクサソリューションズ

専用タブレット及びスマートフォンを用いた「被写体認識基盤サービス」を提供

【お問合せ】 社会ソリューション事業部 草葉・村上 03-5730-5311

ピープルソフトウェア

スマートフォンを用いた「MUSENAVI・ミュージズナビ」を提供

【お問合せ】 営業本部 山本 086-426-5932

#### 7 デモンストレーションの実施

報道機関の方を対象としたデモンストレーションを実施します。

10月27日(土) 15時30分～

#### 問合せ先

神奈川県立生命の星・地球博物館

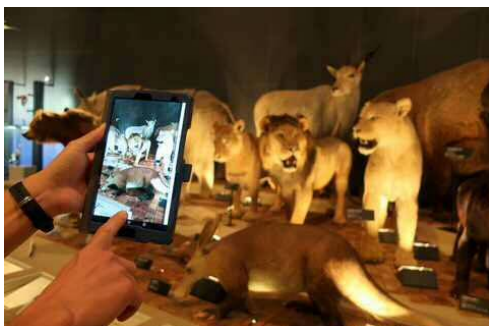
企画情報部長 田邊 勉 電話 0465-21-1515(17:15以降 0465-21-1526)

学芸部 大島 光春 (同上)

#### 参考写真



実験を行う展示室



タブレットを操作している様子